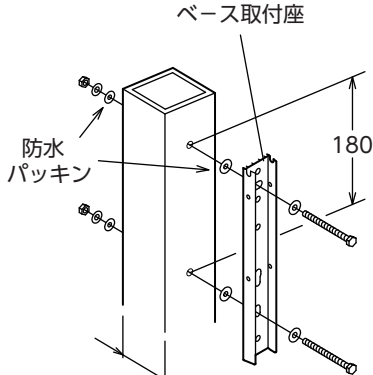
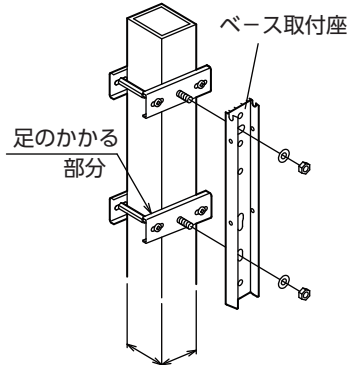
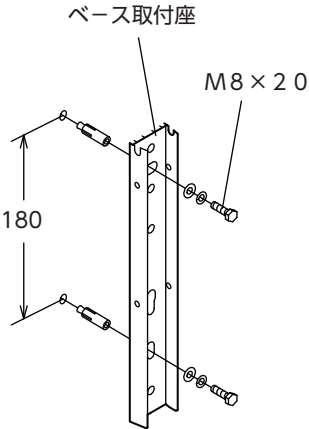
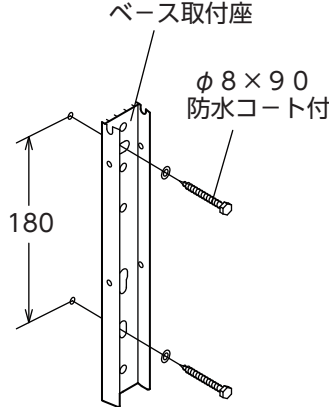


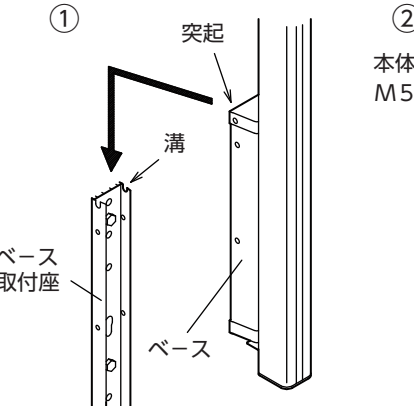
1 ベース取付座の取付

使用するパーツのものを下図より選んでください。ベース取付座は切欠きがある方を上側にしてください。

名称	支柱取付パーツ		支柱ハサミ付パーツ		ジカ付パーツ(コンクリート)	ジカ付パーツ(木造)	
記号	HP-1	HP-1B	HP-2LP	HP-2LP-DB	HP-5B	HP-6	
取付方法	 ベース取付座 防水パッキン 180 HP-1 60mmまで M8×75 HP-1B 80mmまで M8×95 ボルト φ 8.5～9mmの貫通穴をあけて穴にパッキンを貼ってからボルトをゆっくり入れて締め付けてください。		ホスクリーンLP・EP・EPL型専用パーツ ※金具自体が足のかかる部分になりますので、金具までの高さを650mm以上にして下さい。  ベース取付座 M8×20 180 足のかかる部分 35～71mm 35～75mm 金具を図のように取付けて、ナットで固定してください。		 ベース取付座 M8×20 180 φ 12.5mm、深さ38mmの下穴をあけて、RCアンカーを打込みボルトで固定してください。		 ベース取付座 φ 8×90 防水コート付 180 φ 6mm、深さ85mmの下穴をあけて、コーチスクリューで固定してください。

2 本体の取付

①



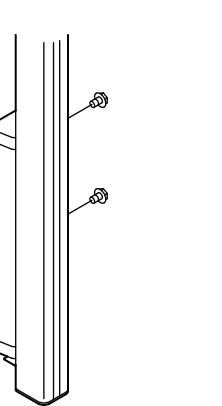
突起

溝

ベース取付座

ベース

②



本体取付ネジ M5×12

①ベース取付座を取付けた後、本体ベース裏側の突起をベース取付座の溝にひっかけます。

②側面から本体取付ネジ4本でしっかり取付けてください。

③必要に応じてアーム収納高さの調整を行ってください。（調整方法は表面参照）

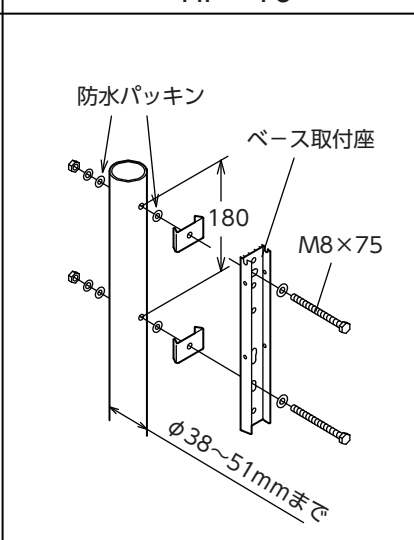
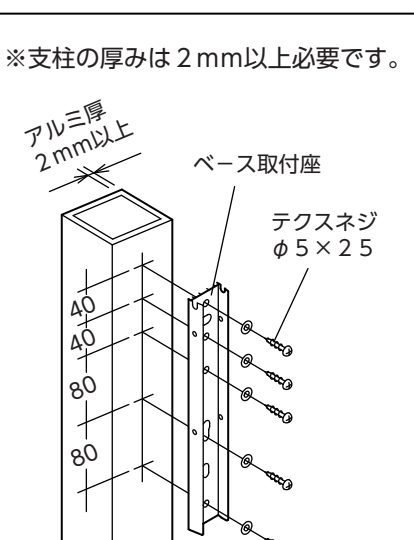
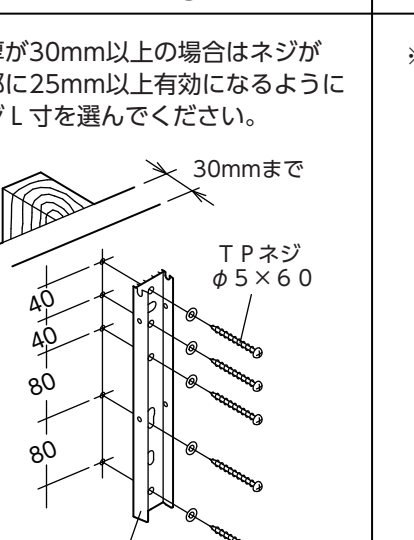
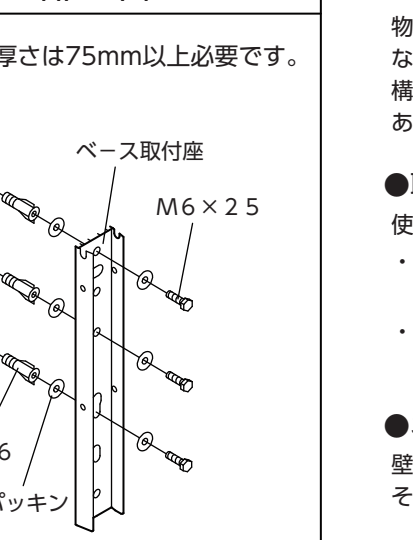
3 取付後の点検

最後に、製品が確実に取付いていることを必ず確認してください。

以上で終了です

[その他の取付方法のご案内]

下記パーツのネジは一般規格品です。

名称	円柱取付パーツ	支柱ジカ付パーツ	ジカ付パーツ(木造間柱)	ALC付パーツ
記号	HP-10	HP-12	HP-13	HP-14
取付方法	 防水パッキン ベース取付座 180 M8×75 φ38～51mmまで φ8.5～9mmの貫通穴をあけて穴にパッキンを貼ってからボルトをゆっくり入れて締め付けてください。	※支柱の厚みは2mm以上必要です。  アル三厚 2mm以上 ベース取付座 テクスネジ φ5×25 40 40 80 80 テクスネジ5本で支柱へそのまま固定してください。	※壁厚が30mm以上の場合はネジが木部に25mm以上有効になるようにネジL寸を選んでください。  30mmまで TPネジ φ5×60 40 40 80 80 ベース取付座 φ3mmの下穴をあけてTPネジ5本で固定してください。	※ALCの厚さは75mm以上必要です。  ベース取付座 M6×25 80 80 AX-M6 防水パッキン 詳しい取付け条件や、施工方法はパーツ品に添付されている説明書をご覧ください。

HP-12、13は防水コート付ネジ。HP-14は防水パッキン付です。市販品を用いる時は防水シーリング等の処置を施してください。

取付上のご注意

- 取付場所・位置
物干金物の取付け場所や位置（高さ等）については図面指定があればそれに従いない場合は御施主様との打ち合わせにより決定してください。
構造や取付け方法によっては、その場所に下地材を前もって準備しておく必要があります。
- 取付部の強度
使用するネジ等が十分に効く事だけでなく、その他の影響にもご注意ください。
 - ・サイディング材の裏に中空部がある場合、その奥の柱にコーチスクリュー等を効かせようとすると外壁材が破損する場合があります。
 - ・外壁材の縁から近い所に穴あけ・ネジ締め等を行った場合も、ひびが入って後から破損や浸水する恐れがあります。
- ネジの長さ
壁材が厚く、取付け面から下地材（ネジが有効に効く部分）までが遠い場合は、それに見合った長さのネジをご用意いただく必要があります。
- 防水処置
取付ネジ部から浸水があると、柱の腐食にまで進行する恐れがあります。
外壁材などに下穴をあけたら穴やその周辺に防水シール材を充填し、浸水のないようにしてください。
物干金物の外周部にシーリングをした場合も、取付ネジ部や金物構造の隙間から浸水がありますので、必ず穴をあけた部分の防水処置をしてください。